

事故のない、安全で快適な 交通社会の実現を目指して



明 る い 交 通

松本交通安全協会
松 本 警 察 署

交通第二課長

岩下 英樹

長野県下における人身交通事故は、10月末現在で発生件数が3700件、死者数は34人、負傷者数は4409人と前年に比べて発生件数、死者数、負傷者数は減少しています。

松本警察署管内における人身交通事故は、発生件数が457件、死者数は3人、負傷者数は540人と、発生件数と負傷者数は減少しているものの、死者数は増加傾向にあり、県下の状況と比較すると厳しい状況にあります。

松本警察署管内発生人身交通事故を類型別に検証すると、交通事故発生場所では、交差点が42.2%で高い比率となっています。

当事者別に検証すると、子どもの事故が7.

2%、高校生の事故が8.0%であるのに対し、高齢者の事故は、39.8%と高い比率になります。

時間帯別に検証すると、夜間の発生状況が22.7%、薄暮時の発生状況が13.1%で、合わせると全体の35.8%となります。

路線別に検証すると、国道での発生が15.7%、県道での発生が26.0%、市・村道での発生が53.3%で、市・村道での発生が高い比率になります。

松本警察署としては、年末に向け引き続き、松本交通安全協会の皆様方をはじめ関係機関等と連携し、悲惨な交通事故を1件でも減らすため、各種活動を強化してまいります。

今後とも、地域に密着した交通事故防止活動を始め、安全・安心な松

松本警察署管内における 交通事故の発生状況 (令和7年10月末現在)

本市、山形村の実現に向けて御活躍いただいている皆様のお力添えにより、更なる交通安全の意識を広めていただき、地域の皆様方が穏やかな年末年始を迎えられますようお願い申し上げます。

交通事故発生状況(速報値)

	発生件数(件)	死者(人)	負傷者(人)
長野県内	3,700	34	4,409
	(前年同月比) -320	-13	-453
	-8%	-27.7%	-9.3%
松本警察署管内	457	3	540
	(前年同月比) -143	2	-167
	-23.8%	200%	-23.6%

自転車事故発生状況(速報値)

	発生件数(件)	全事故に占める割合
長野県内	427	11.5%
松本警察署管内	93	20.3%

令和7年10月31日現在

協会トピックス

緑十字銅章授章伝達式の実施

全日本交通安全協会が長年にわたり交通安全の推進に尽力された功労者とともに長年安全運転に努めた者に対しておこなわれる今年度の交通安全栄誉章「緑十字銅章」の授賞者への伝達式が9月26日松本警察署で行われました。

松本交通安全協会関係では、交通安全功労者8名、優良運転者2名が授章されました。

受賞者の皆さんは引き続き地域の交通事故が減少するよう献身的な活動や模範的な運転に心掛ける思いを新たにしました。

受賞者は交通功労者

鳥羽啓路、伊沢 勝(北深志支部)、百瀬高仁(大名町支部)田中 修、村山孝幸(駅前支部)、中條昌信(庄内支部)、小倉富美枝(鎌田支部)、牧羽彦治(島内支部)

優良運転者 杉山京子(庄内支部)、柏原禎磨(島内支部)

井口博水清水支部長
関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長
連名表彰の授章

井口支部長は、長年にわたり地域の交通安全に尽

力し苦勞を惜しまず献身的な活動を行ってきました。この度これまでの功績と無事故・無違反の模範的な運転に努めていることに対して優良運転者として受賞されました。井口支部長はこの受賞を機に交通安全に対する意識を地域に広め引き続き安全運転に心掛け交通安全活動に尽力する思いを新たにしています。



松本交通安全協会 事業所会員

アルピコ交通株式会社様
日本通運株式会社松本支店様
アルピコタクシー株式会社様
信州名鉄運輸株式会社様
松本第一交通株式会社様
全農長野県本部中信事業所様
西濃運輸株式会社松本支店様
松本牛乳輸送株式会社様
相互第一交通株式会社様
メトバタクシー株式会社様
信州運送株式会社様
丸中運送株式会社様
大栄産業株式会社様
長野第一物流株式会社松本営業所様
TSネットワーク株式会社松本流通センター様
山梨貨物自動車株式会社松本営業所様
アルプス運輸建設株式会社様
松本市駐車場事業協同組合様
株式会社井上様
イオンモール株式会社イオンモール松本様
トピーファスナー工業株式会社様
信州ビバレッジ株式会社様

支部だより

駅前支部

駅前支部は松本駅前を中心に14町会で構成されています。各支部の中でも行事などが（松本ぼんぼん・市民祭・松本あめ市・青山様ぼんぼん・天神祭・神道祭・県縦断

駅伝など）大変多くあり又車の動き、人の動きも多い地区にあります。8名の理事と8名位の役員で構成されていますが最近が高齢化が進み若い人達が少なく安協役員増員に大変苦労しています。年4回の交通安全運動の最終日にはのぼり旗片付けの後、駅前交番の警察官と駅周辺の飲食店を巡

回しティッシュ・チラシを配布し、飲酒運転根絶をお願いしています。一頃飲酒運転も少なくなりましたが最近が増える傾向にあります。飲酒運転で事故を起こせば被害者のもとより加害者とその家族も大変な思いになりますので、飲食店の方にも飲酒運転防止をしっかりとお願いするようにして



芳川支部

松本交通安全協会芳川支部は村井町分会、小屋分会、野溝分会、平田分会、美芳町分会、長丘町分会、北原町分会の全7分会合計約5500戸から構成されており、主な活動として、季節の交通安全週間中における主要道路での啓もう活動、防災訓練における周辺道路の交通整備・歩行者の安全確保、各地区における行事活動（三九郎、神社例大祭など）の交通警備、横断用手旗・のぼり旗等の設置による交通安全の啓もう活動を行っています。

数年前までは、主要道路における朝の啓もう活動では交通安全の呼びかけ用チラシ・ポケットティッシュの戸別配布を行っておりました。また運転免許証の更新に伴う講

習会の開催、小学校における自転車安全教室のサポート活動、保育園児の安全歩行教室のサポート等を行っておりました。しかしながらウイルス感染症が拡大して以降各地区の行事等は縮小され、参加人数の減少や業務形態の見直し等により私たちの交通安全協会の活動も大きな影響を受けていることを実感しております。

更に、長年にわたり地域の交通安全協会を支えてこられた役員の方々の高齢化もこの組織を維持・運営していく上で避けて通れない大きな課題であると思います。

また現在役員として選出されている方々の多くはご自身の仕事をしながら活動されており、近年の厳しい社会情勢の中で平日・日中に交通安全協会の活動に時間を作ることの難しさも、私自身が一人の会社員として痛感しているところであり、周囲の方々を見ても容易なことではないと感じる日々であります。

ここ数年、交通安全協会を取り巻く環境も大きな変革の波が押し寄せているように感じられますが、長い年月をかけ大勢の先輩方が真剣に将来を見据えながら作られてきたこの交通安全協会の組織を、今後無駄にすることの無いように各地区の分会が地元の意見を聞きながら、まずは小さくても自分の地区に役立てる事を積み重ねていくことで、交通安全だけにこだわらない地区に根ざした組織になっていくことができないかと考えております。

例えばいつ起きるかもしれない地震災害や、集中豪雨による水害など広い面積を持つ芳川地区の地域性を理解し地区町会とも連携しながら非常時の対応にあたることも今後の重要な課題の一つであると考えています。そのために現在の組織を活かせるような運営方法を周囲の組織とも連携し、意見交換などをしながら一歩でも二歩でも先へ進めていけるような環境作りが大切であり、今後の活動に生かしていければと考えています。